

竹内 康紘（たけうち やすひろ）

聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科4年／学生ボランティア団体「そよかぜ」代表

埼玉県川越市出身。2023年3月自由の森学園高校を卒業、同年4月に聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科に入学し、社会福祉士を目指して勉強に励む。2024年元旦の能登半島地震の発生を受け、かつて父親と訪れたことのある能登町に学生ボランティアとして訪問、能登町社会福祉協議会のボランティアセンターにて活動しつつ、5月には学生ボランティア団体「そよかぜ」を設立。以来、能登町へ通い続け、子どもたちとの関わりを軸としたサロン活動等を継続している。2025年には、埼玉県内で能登町民による講演会を開催した。

岡安 努（おかやす つとむ）

社会福祉法人共友会統括マネージャー（精神保健福祉士・社会福祉士）

千葉県野田市出身。2003年聖学院大学人文学部人間福祉学科を卒業後、恩師・柏木昭教授の勧めで石川県内の精神科病院や福祉法人で障害者の生活訓練や就労訓練、相談支援、認知症高齢者の生活支援に従事。2013・2014年度に厚生労働省社会・援護局障害福祉部へ出向。2024年元旦の能登半島地震発生時は妻の実家で被災。奥能登での被災高齢者等把握事業等に参加するかたわら、加賀市の職場である認知症グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所では、珠洲市や輪島市からの避難者を受け入れ支援している。

岩尾 貴（いわお たかし）

社会福祉法人 長久福社会業務執行理事・障害福祉サービスグループ施設長（精神保健福祉士）

石川県加賀市出身。1994年淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科を卒業後、石川県職員として県庁や精神科病院等に勤務するかたわら、2008年に聖学院大学大学院人間福祉学研究科修士課程を修了。現在は、障害福祉サービス事業所に勤務。2007年の能登半島地震、中越沖地震、2011年には東日本大震災にこころのケアチーム、2016年熊本地震ではDPAT（災害派遣精神医療チーム）に、2023年5月の奥能登地震では珠洲市内の要配慮者等の訪問活動に参加。2024年元旦の能登半島地震では、発災時から精神保健福祉士等の被災地支援の調整に関与し、現在も支援活動を継続している。

聖学院大学の心理福祉学部

～人と社会を深く理解し、「共に生きる」こころを養う～

現代を生きる人々のこころと社会の関係を、心理学と社会福祉学の2つの分野から深く学び、他者に寄り添えるこころの豊かさと課題解決能力を身につけます。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどの専門職をめざす人に加え、一般企業をはじめとするさまざまな場面で活用できる人間理解とコミュニケーションの力を育成しています。

聖学院大学では、学部、研究科（大学院）ともに科目履修や聴講が可能です。社会人を対象とした履修証明プログラムなども用意しています。

